

定期テスト終了！

9月の学校生活が始まります

本年度初めての定期テストが終了しました。

1年生はこの一週間、時間を有意義に活用し、テスト勉強ができたでしょうか？2, 3年生にとってはテスト期間中の生活は慣れているところですが、自分の力を十分発揮させることができたでしょうか？特に1年生は初めてのテストで、準備が大変だったと思います。テストを機会に部活動がお休みになり、自分自身で学習のスケジュールを立てる良いきっかけになったかと思います。

いずれにしても今回のテストをよく振り返って次回に備えましょう。

さて、テストが終わると平常授業が再開します。3年生は少しずつ受験モードに入り、進路先の決定に向けて動き出します。1, 2年生はいよいよ部活動の対外試合も再開され、部活動が本格化します。暑い日はまだまだ続きそうです。新型コロナウイルス感染症、熱中症にも引き続き、十分気をつけて、9月を実り多い一ヶ月にしましょう。

久々の部活動、対外試合始まる ウォームアップを万全に

これまで自粛されていた運動部活動の対外試合が9月から再開されます。先日、茅ヶ崎地区中体連会長から対外試合再開にあたり、新型コロナウイルス感染症および熱中症の対策として次のような要請がありました。本校ではそれに沿ってテスト明けから安全に部活動をスタートさせるように努めてまいります。

しばらく保護者の皆様には応援を控えていただきますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

対外試合にあたって	(茅ヶ崎地区中体連から)
1 対戦校数	最大3校まで
2 対戦校の範囲	茅ヶ崎地区の学校
3 生徒参加者	必要最小限数の参加者で
4 応援	当面は保護者の応援はなし

新しい職員の紹介

国語科講師、スクールサポートスタッフ、学習指導員

このたび、教員の業務支援を目的としたスクールサポートスタッフおよび、授業の先生方の補助や生徒の学習を支援する学習指導員が新たに配置されました。また、7月6日より国語科講師として、改めて栗多節子先生が勤務されています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

国語科講師
スクールサポートスタッフ
学習指導員

栗多 節子先生
川田 昌子さん
赤池 亜希子さん

GIGAスクール構想進む 本年度中、生徒にPC配付へ

文部科学省より出されておりました GIGA スクール構想はこのコロナウイルス禍の影響もあって、実施が早まりました。全員にPCが一斉配付されるまでには時間がかかりますが、今年度中には配付されることになりそうです。

GIGA スクール構想が実現されれば、これまでの学習スタイルが大きく変わることは間違いありません。もしかしたら、教科書、ノートなどの必需品がなくなって、手軽に登校できるようになるかもしれません。更に緊急事態の状況下においても企業で進むテレワークのように生徒の在宅学習の可能性が広がることになるでしょう。

便利になることは間違いのないところですが、反面、心配される課題もあります。個人情報管理をはじめ、情報モラルについて改めて考えなければならないことや配付されたPCをどのように利用し、管理するかなど具体的な扱い方を検討していくことが考えられます。これらのことをしっかりと生徒と共に考え来たるべきAI社会到来に向けてPCを活用していかなければならないと考えます

*GIGAスクール構想とは

児童生徒の為に一人1台の学習用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。子ども一人ひとりの個性に合わせた教育の実現を目的としています。

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思っております。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一